



# 滋賀の魅力を向上させるまちづくりへの支援

- ▶ 人口減少社会の到来を迎える中、持続可能なまちづくりを推進するため、旧町村の役場周辺等の「地域拠点」への支援や公園の魅力を向上するための支援を図りたい。

【提案・要望先】財務省、国土交通省

## 1. 提案・要望内容

### (1) 都市計画事業 予算枠の拡大

- 緑豊かで魅力的なまちづくりを進める事業の予算枠の拡大
- 3か年緊急対策後も国土強靱化を早期に進めるための別枠による財政支援

### (2) 旧町村の役場周辺などの「地域拠点」への支援

- 新型コロナ危機も踏まえた「多極分散型都市構造」を推進するため、まちなかに加えて、旧町村の役場周辺などの職住近接の「地域拠点」（郊外集落）への支援

### (3) 公園整備等によるオープンスペースの充実のための支援

- コロナ禍を契機とした増大する需要に対応するため、公園の魅力を高める取組への重点的支援

<国土交通省の概算要求等の状況> 【概算要求】

- ・コンパクトで歩いて暮らせるゆとりとにぎわいあるまちづくりの推進 752 億円（対前年比 1.01 倍）
- ・豊かな暮らしを支える社会資本整備の総合的支援（社会資本整備総合交付金） 7,277 億円（対前年比 1.00 倍）

## 2. 提案・要望の理由

### (1) 都市計画事業予算枠の拡大

- 持続可能なまちづくりを実現するためには、「多極分散型都市構造の推進」と、賑わいを創出する「都市公園の整備推進」を行うことが重要であり、都市計画事業の予算枠拡大が必要。
- 県では、近年発生した災害の課題を踏まえ、国土強靱化地域計画に基づき必要な取組を進めており、早期整備を図るためにも国からの支援が必要。

### (2) 旧町村の役場周辺などの「地域拠点」への支援

- 新型コロナ危機も踏まえた「多極分散型都市構造」の推進のためには、駅周辺等の拠点だけでなくポテンシャルの高い郊外の「地域拠点」に機能の集約を図りながら、拠点間の連携に資する投資が必要。
- このため、観光振興やまちなかとの交流の核となる「地域拠点」の生活サービス機能を維持するための関連施策への支援が必要。

### (3) 公園整備等によるオープンスペースの充実のための支援

- 新型コロナ危機を契機とし、貴重な屋外空間として公園等のオープンスペースの価値が再認識され、需要も増大。
- このため、老朽化の著しい公園施設の改修や、民間活力を導入した公園整備（Park-PFI）の推進など、公園の魅力向上を図るための重点的な支援が必要。

# (本県の取組状況と課題)

## (1) 都市計画事業 予算枠の拡大

## (2) 旧町村の役場周辺などの「地域拠点」への支援

新型コロナ危機も踏まえ、都市部と郊外集落が共に持続的に維持向上する「多極分散型都市構造」を推進するため、職住近接の地域拠点への支援を！

＜広域で合併した自治体の例＞

○東近江市 地域拠点 (五個荘、永源寺、湖東、愛東、蒲生)

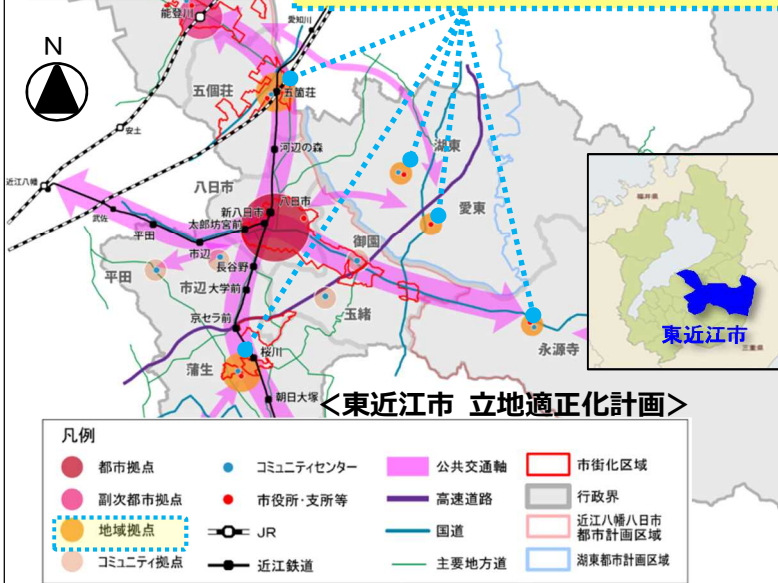


### ◆生活サービス機能維持

→バスステーションの整備、コミュニティセンターの改築、テレワーク拠点の整備 等

### ◆観光振興のための施設整備

→修景舗装、広場整備 等



県内地域拠点住民や市町職員の声

・昔は役場があった地域の拠点なのに、田舎は切り捨てられてしまうのか・・・。  
 ・せめて、まちなかへ向かうみんなが利用するバス停には、休憩所がほしい。  
 ・最低限の日用品、食料品を扱う商店や診療所は近くにあってほしいなあ。(地元住民)

・昔ながらの地場産業や小規模な観光拠点を維持向上する支援がほしいです。(市職員)

・まちなかの発展はもちろんですが、郊外の拠点となる地域においても、地域に根ざした産業に従事する方が、安心して住み続けられるような支援が必要です。(合併市職員幹部)

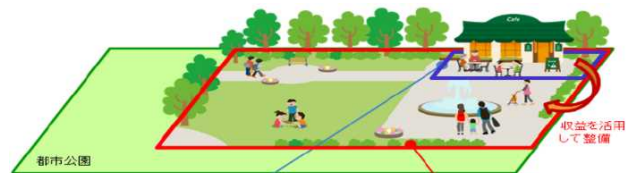
## (3) 公園整備等によるオープンスペースの充実のための支援

コロナ禍を契機とし、貴重な屋外空間として公園等のオープンスペースの価値が再認識されており、増大する需要に対応するため、公園の魅力を高める取組への支援を！

老朽化の著しい公園施設の改修等に対する重点支援を！

民間活力を導入した公園整備 (Park-PFI) に対する重点支援を！

【 県営都市公園施設の設置経過年数 (2019 年度末) 】



	カフェ等の収益施設 (公募対象公園施設)	広場、園路等の公共部分 (特定公園施設)
従前	民間資金	公的資金
新制度	民間資金	収益を充て 公的資金

担当：土木交通部都市計画課都市計画係  
 TEL 077-528-4182